

# 美しい式番街（緑の号） (No.9, 1997年11月10日)

コープ野村南流山式番街管理組合+緑化専門委員会

## 1. 定期管理（中新造園）に関連する植栽関係の作業報告

### (1) 2号棟北面のイチョウの剪定

7月の強風でイチョウの木が1本、倒れかかりました。このため、奥山管理人さんにより、ロープで自動車の方へ倒れるのを防ぐよう措置されました。そして翌日、(株)中新造園により復旧と支保工がなされました。

当マンションの周辺の敷地は江戸川が近く、マンション建設の時に重い建設機械が入れるように多くの砕石が地面に敷き込まれ、これが邪魔して樹木が地中深く根を張ることができないのがその原因です。このような状況でイチョウの根の下の地盤改良を行うような根本的な解決を図るのは金額的に難しいことから、強風で風を受けても倒れにくいように中新造園により、剪定が施されました。

### (2) ケヤキ及びその他の落葉樹の剪定

当マンションが出来てから、ケヤキはちゃんとした剪定が行われてきませんでした。このため、枝が密集した状態となっていました。今回、中新造園により高所作業車が持ち込まれ、本格的な剪定が行われました。そして各所の落葉樹が剪定されました。

### (3) 1・2号棟間の駐車場の出口の樹木の剪定

当マンションの東面の1・2号棟間の駐車場の出口部は通学路に指定されています。そして、これまで自動車が道路に出る場合、その見通しが悪い状態でした。

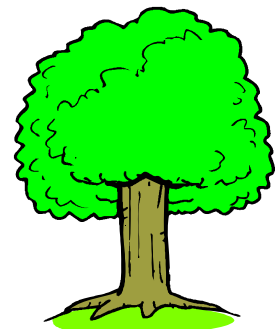
そこで道路側の植え込みの木の上部が中新造園により剪定され、視認性が改善されました。

### (4) 西面の歩道に大きくはみ出した樹木の剪定

掲示物で報告しましたが、西面の歩道に大きくはみ出したマテバシイを強剪定し、歩行の障害となっていたのが改善されました。なお、剪定された樹木は既に葉を茂らせた状況になっています。

### (5) 受水槽廻りの目隠し用の樹木の剪定

やはり、既に掲示物で報告しましたが、ライオン公園隣りの



受水槽を取り巻くネズミモリの木が上部のみ葉が茂っている状態で目隠しの役割を果たしていないことから、上部を大きく剪定しました。現在ではこの効果があって側面にも葉が出た状況となりました。

## 2. 住民を中心とした活動

ボランティアの方、奥山管理人、そして緑化専門委員会のメンバーで次のような改善を図っています。

### (1) 2号棟北面等の緑地の芝生植え

掲示物で既に連絡いたしました。当マンション内の緑地の改善の要望が多かったことから、計画を早めて従来、生育の悪かった芝地の改善として、2号棟の北側、1号棟の東側に洋芝の植栽を試みています。2号棟北側の地盤改良の際には多くのコンクリートの塊や石がでてきたのには驚かされました。夏の間、その緑を楽しまれた方も多いと思います。今後、状況を確認しながら、長期計画の見直しに反映していきます。

### (2) 2号棟西面の放尿対策

2号棟西面に放尿がなされ、居住者の方が長年、悩まされてきました。そこで低木の植え込みと垣根を設け、建物側に人が寄れないようにしました。

### (3) 樹木の不要支柱の撤去

建設当時は小さかった樹木は15年経ち、大きくなりました。そしてその当時、倒れるのを防止するために必要だった支柱が、今日では木の幹に大きく食い込んだりして木の成長に望ましくない状況になっていました。そこで支柱を撤去しました。

お住まいの皆様の緑化に対するご理解とボランティアで参加された方々に感謝いたします。また、今後の本活動に対する皆様のご協力、よろしく願いいたします。

